

(2019年8月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

<要点>

【政治】

- 内政：下院におけるモイーズ大統領非難決議の否決（22日）
- 内政：ラモー国家警察長官の就任（27日）
- 内政：ミシェル内閣の閣僚5名の差し替え（30日）
- 外交：国連ハイチ司法協力ミッション（MINUJUSTH）の段階的撤収（3日）

【経済】

- 5月インフレ率，前年同月比18%

【社会】

- 治安：ラサリーヌ地区ギャングリーダー2名の逮捕（22日）

1 政治

（1）内政：下院におけるモイーズ大統領非難決議の否決

- 22日 下院議会において，大統領辞任を求める非難決議投票が実施され，下院議員の過半数に当たる55名の反対をもって否決された。

（2）内政：ラモー国家警察長官の就任

- 27日 ジェデオン国家警察長官の後任として，ラモー（Normil RAMEAU）国家警察長官が任命された。

（3）内政：ミシェル内閣の閣僚5名の差し替え

- 29日 官報において，モイーズ大統領及びミシェル首相は連名で，ミシェル内閣の閣僚5名（外務・宗務大臣，文化・コミュニケーション大臣，国民教育・職業訓練大臣青少年・スポーツ・市民活動大臣，観光大臣）の差し替えを発表した。

（4）外交：国連ハイチ司法協力ミッション（MINUJUSTH）の段階的撤収

- 3日 MINUJUSTHに派遣されているルワンダ警官126名は10月に向けた段階的撤収の一環として帰国した。

2 社会

（1）治安：ラサリーヌ地区ギャングリーダー2名の逮捕

- 5日 昨年11月に生じたラサリーヌの虐殺等に関与した疑いのあるギャングリーダー2名（Tony Derlus, Guitho Louis）が逮捕された。